

# 地域医療の充実を目指して

## 市立中央病院のさまざまな取り組み

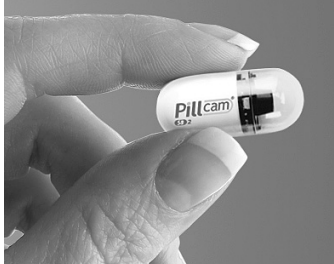
市立中央病院は、市民に期待され、親しまれ、信頼される病院でありたいと考えています。そのためには、患者の皆さんからの信頼を第一と考え、「高度な医療を優しく、確実に」をモットーに、ハードとソフト両面で診療機能の充実を図っています。

これからの引き続き、地域の公立病院として患者の皆さんが安心して医療を受けられるようスタッフ一同、力を合わせ、地域医療を充実させるための取り組みを進めていきます。  
問合せは市立中央病院(0798・64・1515)へ。

### 診療科の枠を越えた連携

市立中央病院では、センター化の取り組みを進めています。診療科の枠を越えて、医師、看護師、薬剤師、技師などのスタッフが連携してチーム医療を提供しています。

消化器センター  
消化器内科、消化器外科、放射線科が協力し、それぞれの専門的な視点から診断を行うとともに、その患者に最良の治療方法を提供します。医師だけでなく



ダブルバルーン内視鏡(写真上)  
カプセル内視鏡(写真下)  
画像提供: 富士フイルムメディカル

### 救急医療体制～安心のサポート

急な発熱やけがなどの救急医療ニーズにこたえるため、救急医療体制を整備しています。救急医療の受け入れ対象は次のとおりです。

#### ●外科1次救急

軽度な外傷患者が対象です。紹介状がなくても受診できます。

#### ●2次救急(小児科・外科・内科)

2次救急医療は、地域の診療所等からの紹介患者または救急車による搬送患者など、主に1次救急医療(対象は比較的軽症な患者)を担当する医療機関から転送される救急患者が対象です。

地域の医療機関で診療を受け、検査や入院が必要とされた患者を受け入れています。

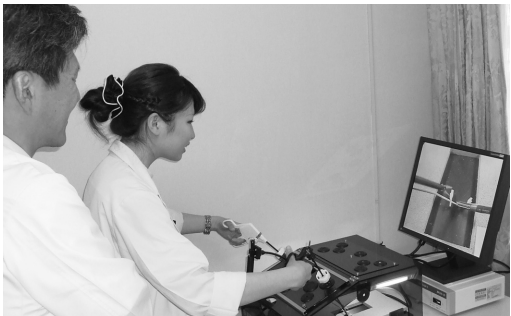
地域の診療所等において市立中央病院を紹介してもらう際には、患者の皆さんに医師から紹介状が渡されますので、来院の際に持参してください。

※月曜～木曜および土曜の外科2次救急は、地域の診療所などからの紹介患者のみが受け入れ対象です

#### ～市立中央病院の救急医療体制～

| 区分 | 小児科2次救急   | 外科1次救急    | 外科2次救急    | 内科2次救急     |
|----|-----------|-----------|-----------|------------|
| 月曜 | 午後6時～翌朝7時 | 午後6時～翌朝8時 |           | 午後6時～9時※   |
| 火曜 |           |           |           | 午後6時～翌朝8時※ |
| 水曜 |           |           | 午後6時～9時※  |            |
| 木曜 |           |           |           | 午後6時～9時※   |
| 金曜 |           |           | 午後6時～翌朝8時 |            |
| 土曜 |           |           |           | 午前9時～正午※   |

※印は、祝日にあたる日は診療を行いません



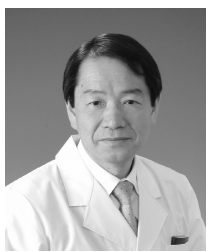
腹腔鏡手技の指導を行う指導医(左)と研修医

### 体に負担の少ない低侵襲手術

傷が小さく痛みが少ない低侵襲(ていしんしゅう)手術は、体に負担の少ない手術方法です。お腹に開けた小さな穴から内視鏡カメラを入れて、体の中の様子をテレビモニターに映しながら行う手術を腹腔鏡手術と呼び、低侵襲手術の代表です。腹腔鏡手術はその傷が小さいことから、従来の大きな傷を伴う開腹手術と比べて、痛みが非常に少なく、手術後も早く食事を開始したり、歩行することができます。

また、腹腔鏡手術の安全性をさらに高めるために、3次元立体内視鏡を全国に先駆けて導入し、腹腔鏡下前立腺摘出術に使用しています。当院の低侵襲手術は、技術認定医(外科1名、泌尿器科1名)の指導下で行われますので、安心して手術を受けることができます。

一方、将来、外科系領域を目指す若い医師の育成や、経験の浅い医師の技術向上を支援するために、6月に「内視鏡トレーニングセンター」を院内に開設し、後進の育成にも積極的に取り組んでいます。↑写真参照。



中央病院 左近賢人

### 院長からのメッセージ 地域に開かれた病院へ

このように考えの下、診療機能の重点化による高度医療の提供、新型インフルエンザなど呼吸器感染症の対策に取り組んでいます。その結果、重点化された診療科では若いスタッフが増加し、また初期臨床研修医の応募も急増しています。今後とも地域の皆さんや開業医の先生に開かれた病院を目指してさまざまな試みを行ってまいります。

特に近年増加の一途をたどる肺がんに対しては、病状に合わせて手術療法、抗がん剤治療、放射線治療を選択し、またこれらのを組み合わせた治療を実践して成果が得られています。さらに肺気腫や肺がんの最大の原因である喫煙に対して、禁煙外来を開設し、指導および治療を行っています。

【日程】祝日を除く水・木曜の午後3時～4時  
【会場】市立中央病院3階  
◆糖尿病患者会「さくら会」  
中央病院にある糖尿病患者会で、患者相互の交流の中で糖尿病と上手につき合うコツを学ぶ場となっています。独自の勉強会や食事会の開催、地域のウォークラリーへの参加などの活動を行い、親ほくを深めています。



空気感染を防ぐ感染症診察用テント

### インフルエンザなどへの備え

中央病院では、公立病院として市民の健康と安全を守るため、保健所や市医師会との緊密な連携のもとに呼吸器感染症対策への取り組みも積極的に進めています。昨年5月の新型インフルエンザ流行時には、いち早く発熱外来を設置しました。また、10月以降の再流行時には、市心臓診療所を支援する協力病院として内科診療なども行いました。

こうした呼吸器感染症の流行時には、感染症にかかった患者を分離し、空気感染を防ぐ必要があります。このため、一般の外来診察と区分する屋外設置の診察用テントを新たに購入しました。↑写真参照。さらに、新型インフルエンザ等の呼吸器感染症がまん延した場合に備えて、空気清浄装置を備えた空気感染隔離ユニットなど感染症対策のための各種機材・機器も整備しています。

### 乳がんの早期発見・治療へ

乳がんをはじめとする乳腺疾患の早期発見、治療に多職種によるチームで取り組んでいます。マンモグラフィ(乳房X線撮影)については医師の読影資格、技師の撮影資格ともに最高位を取得しています。3月には新しいマンモグラフィ撮影装置↓写真参照↑と超音波診断装置を導入し、さらに診断精度は向上しました。



マンモグラフィ撮影装置  
画像提供: 東芝メディカルシステムズ

乳がん治療では、手術だけでなく外来での抗がん剤を利用した治療法や放射線治療も大切です。市では、平成13年にマンモグラフィ検査を導入して以来、受診率、早期乳がんの発見率とも向上しています。当院では、市民検診をこれまで実施していた木曜の午後に加え、5月からは一部の土曜午前も実施しています。いずれも事前に予約が必要です。ぜひご利用ください。